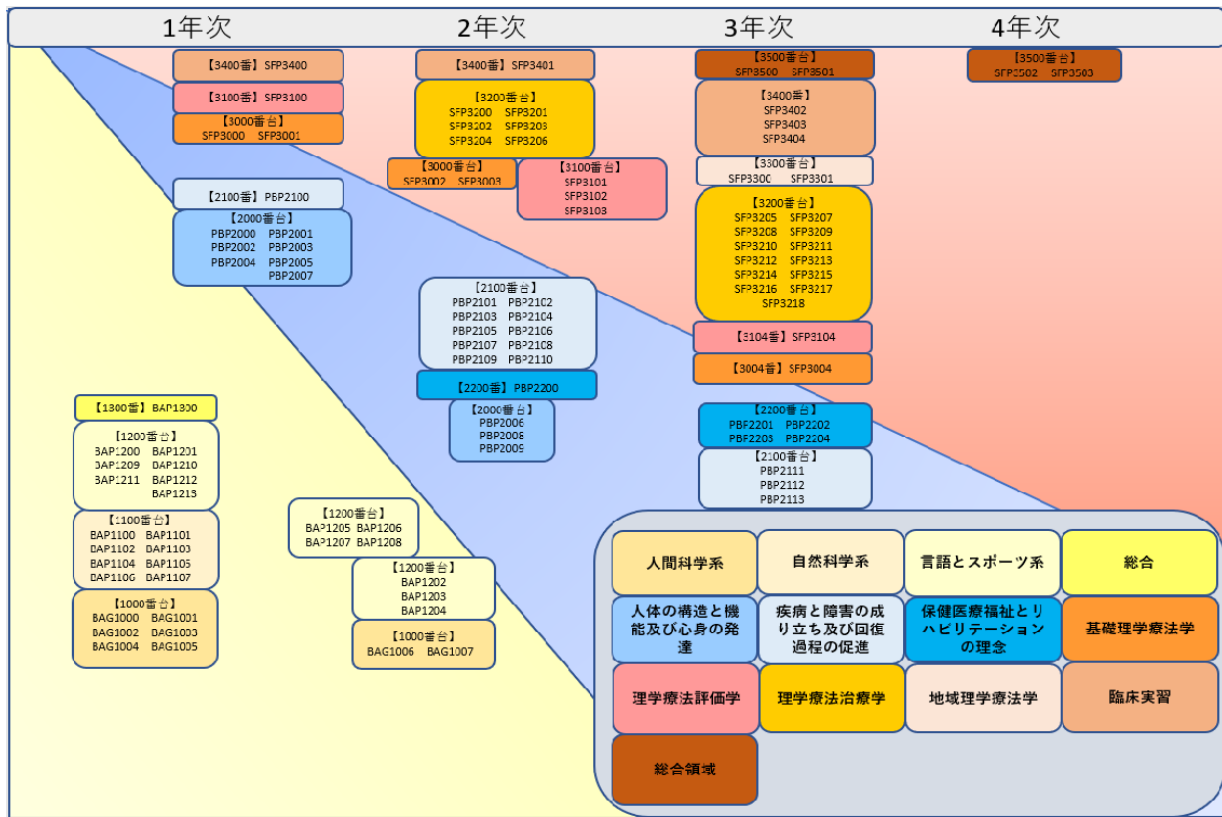
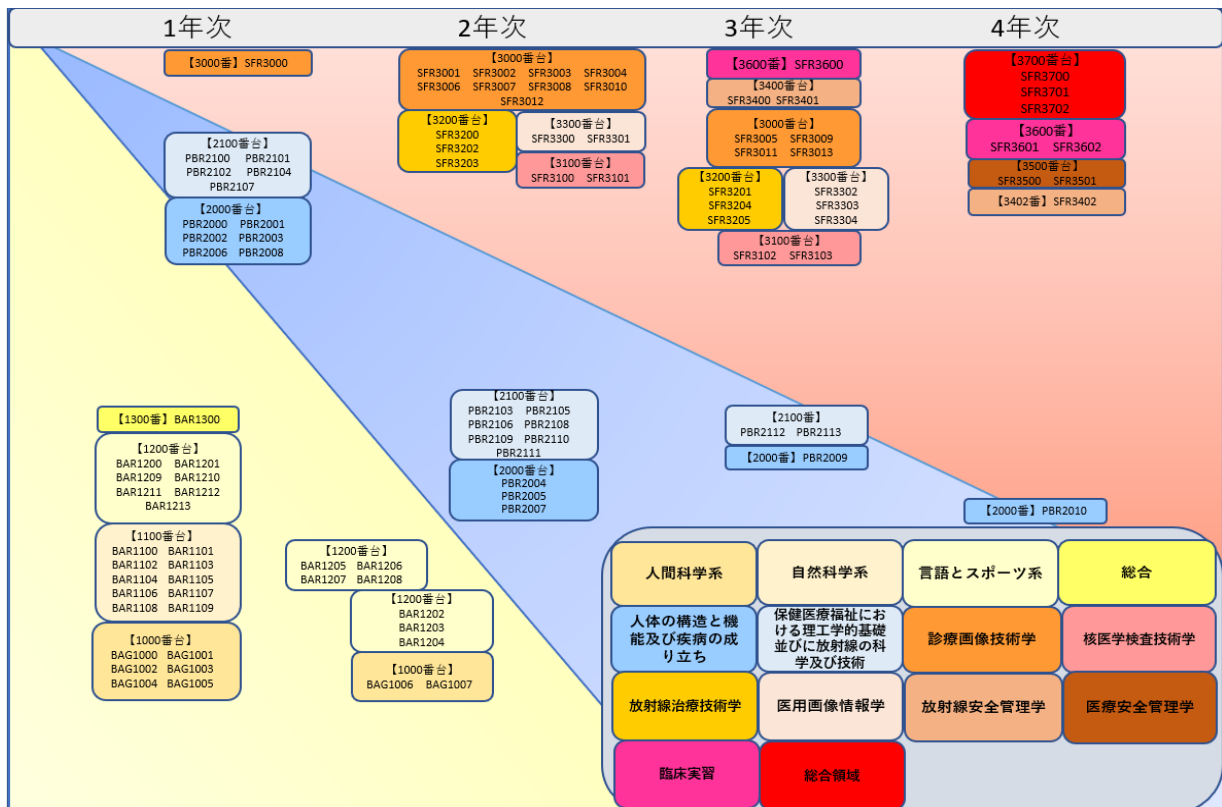


# 授業構成(ナンバリング)

## 理学療法学科



## 診療放射線学科



# 教育課程等の概要(授業科目一覧)

## <理学療法学科>

区分	授業科目	配当年次		単位数		履修方法及び卒業要件	ナンバリング	
				必修	選択			
基礎分野	人間科学系	現代社会と倫理	1	前		2	必修2単位に加え 選択から4単位以上	BAG1000
		心理と行動	1	前		2		BAG1001
		社会学概論	1	前		2		BAG1002
		人間関係論 (コミュニケーション論)	1	後	2			BAG1003
		法と社会 (日本国憲法)	1	後		2		BAG1004
		人権とジェンダー	1	後		2		BAG1005
		社会保障制度と医療経済	2	前		2		BAG1006
		世界と日本現代史	2	前		2		BAG1007
	自然科学系	基礎化学	1	前		1	選択から6単位以上	BAP1100
		基礎生物学	1	前		1		BAP1101
		基礎物理学	1	前		1		BAP1102
		基礎数学	1	前		1		BAP1103
		情報科学	1	前		1		BAP1104
		統計学	1	後		2		BAP1105
		生化学	1	後		2		BAP1106
		生命現象の科学	1	後		2		BAP1107
	言語とスポーツ系	英語 I	1	前	2		必修6単位に加え 選択から4単位以上	BAP1200
		英語 II	1	後	2			BAP1201
		英語表現 I	2	前		2		BAP1202
		英語表現 II	2	後		2		BAP1203
		医療英語	2	後		2		BAP1204
		中国語 I	1・2	前		2		BAP1205
		中国語 II	1・2	後		2		BAP1206
		フランス語 I	1・2	前		2		BAP1207
		フランス語 II	1・2	後		2		BAP1208
		国語表現法	1	後		2		BAP1209
		スポーツ理論・実技	1	前	1			BAP1210
		スポーツ健康運動方法論	1	前	1			BAP1211
		野外スポーツ実習 I (サマー)	1	前		1		BAP1212
		野外スポーツ実習 II (ウィンター)	1	後		1		BAP1213
	総合	フレッシュアーズゼミナール	1	通	2		必修2単位	BAP1300
	基礎分野 計 (卒業要件)						24	

区 分	授業科目	配当 年次		単位数		履修方法 及び 卒業要件	ナンバリング
				必修	選択		
専門基礎分野	人体の構造と機能 及び心身の発達	解剖学Ⅰ	1	前	2		PBP2000
		解剖学Ⅱ	1	前	2		PBP2001
		解剖学実習Ⅰ	1	後	1		PBP2002
		解剖学実習Ⅱ	1	後	1		PBP2003
		生理学Ⅰ	1	前	2		PBP2004
		生理学Ⅱ	1	後	2		PBP2005
		生理学実習	2	前	1		PBP2006
		運動学	1	後	2		PBP2007
		運動学実習	2	前	1		PBP2008
		人間発達学	2	前	1		PBP2009
	疾病と障害の成り立ち 及び回復過程の促進	救命救急学	1	前	1		PBP2100
		臨床心理学	2	前	1		PBP2101
		カウンセリング論	2	前	1		PBP2102
		病理学概論	2	前	1		PBP2103
		外科学	2	前	1		PBP2104
		整形外科学	2	前	2		PBP2105
		脳神経外科学	2	後	1		PBP2106
		内科学	2	後	2		PBP2107
		精神医学	2	後	1		PBP2108
		神経内科学	2	後	2		PBP2109
		小児科学	2	後	1		PBP2110
		感染症・免疫学	3	前	1		PBP2111
		薬理学	3	前	1		PBP2112
	栄養代謝学	3	前	1		PBP2113	
	保健医療福祉と シヨンの理念	リハビリテーション医学	2	前	2		PBP2200
		医療倫理論	3	前	1		PBP2201
		医療安全管理学	3	前	1		PBP2202
		地域包括マネジメント論	3	後	1		PBP2203
		チーム医療論	3	後	1		PBP2204
	専門基礎分野 計（卒業要件）						38

区 分		授業科目	配当 年次		単位数		履修方法 及び 卒業要件	ナンバリング	
					必修	選択			
専門分野	基礎 理学療法 学	理学療法概論	1	前	2		必修 9 単位	SFP3000	
		日常生活活動学	1	後	2			SFP3001	
		日常生活活動学実習	2	前	1			SFP3002	
		理学療法基礎ゼミナール	2	通	2			SFP3003	
		理学療法管理学	3	前	2			SFP3004	
	理学療法 評価学	検査・測定学	1	後	2		必修 7 単位	SFP3100	
		検査・測定学演習	2	前	1			SFP3101	
		運動療法評価学	2	前	2			SFP3102	
		運動療法評価学実習	2	後	1			SFP3103	
		理学療法画像評価学	3	前	1			SFP3104	
	理学療法 治療学	物理療法学	2	後	2		選必修 から 20 単位に 以上	SFP3200	
		物理療法学実習	2	後	1			SFP3201	
		運動器系理学療法学	2	前	2			SFP3202	
		運動器系理学療法学実習	2	後	1			SFP3203	
		神経系理学療法学	2	後	2			SFP3204	
		神経系理学療法学実習	3	前	1			SFP3205	
		内部障害系理学療法学	2	後	2			SFP3206	
		内部障害系理学療法学実習	3	前	1			SFP3207	
		発達障害系理学療法学	3	前	2			SFP3208	
		スポーツ理学療法学	3	前	2			SFP3209	
		義肢装具学	3	前	2			SFP3210	
		義肢装具学演習	3	前	1			SFP3211	
		リハビリテーション工学	3	後	1			SFP3212	
		発達障害系理学療法学演習	3	後		1		SFP3213	
		スポーツ理学療法学演習	3	後		1		SFP3214	
		関節障害理学療法学演習	3	後		1		SFP3215	
		認知神経理学療法学演習	3	後		1		SFP3216	
		急性期理学療法学演習	3	後		1		SFP3217	
	高齢者理学療法学演習	3	後		1	SFP3218			
	学地域 療法理	地域理学療法学Ⅰ	3	前	2		必修 4 単位	SFP3300	
		地域理学療法学Ⅱ	3	後	2			SFP3301	
	臨床 実習	臨床実習Ⅰ（見学）	1	前	1		必修 20 単位	SFP3400	
		臨床実習Ⅱ（検査・測定）	2	前	1			SFP3401	
		臨床実習Ⅲ（評価）	3	後	5			SFP3402	
		臨床実習Ⅳ（インターン）	4	前	12			SFP3403	
		臨床実習Ⅴ（地域）	4	前	1			SFP3404	
	総合 領域	理学療法研究法	3	前	1		必修 6 単位	SFP3500	
		理学療法ゼミナール	3	通	2			SFP3501	
		卒業研究	4	通	2			SFP3502	
		理学療法学セミナー	4	後	1			SFP3503	
	専門分野 計（卒業要件）							70	

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
<p>&lt;卒業要件&gt;            必修114単位、選択18単位以上、合計132単位以上を修得すること。            (履修科目の登録の上限：46単位(1年次・2年次)、40単位(3年次・4年次))</p> <p>&lt;履修方法&gt;            ・基礎分野の「人間科学系」は、必修2単位に加え、「現代社会と倫理」「心理と行動」「社会学概論」「法と社会(日本国憲法)」「人権とジェンダー」「社会保障制度と医療経済」「世界と日本現代史」から4単位以上修得すること。            ・基礎分野の「自然科学系」は、「基礎化学」「基礎生物学」「基礎物理学」「基礎数学」「情報科学」「統計学」「生化学」「生命現象の科学」から6単位以上修得すること。            ・基礎分野の「言語とスポーツ系」は、必修6単位に加え、「英語表現Ⅰ」「英語表現Ⅱ」「医療英語」「中国語Ⅰ」「中国語Ⅱ」「フランス語Ⅰ」「フランス語Ⅱ」「国語表現法」「野外スポーツ実習Ⅰ(サマー)」「野外スポーツ実習Ⅱ(ウインター)」から4単位以上修得すること。            ・基礎分野の「総合」は、必修2単位修得すること。            ・専門基礎分野「人体の構造と機能及び心身の発達」は、必修15単位修得すること。            ・専門基礎分野「疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進」は、必修17単位修得すること。            ・専門基礎分野「保健医療福祉とリハビリテーションの理念」は、必修6単位修得すること。            ・専門分野「基礎理学療法学」は、必修9単位修得すること。            ・専門分野「理学療法評価学」は、必修7単位修得すること。            ・専門分野「理学療法治療学」は、必修20単位に加え、「発達障害系理学療法学演習」「スポーツ理学療法学演習」「関節障害理学療法学演習」「認知神経理学療法学演習」「急性期理学療法学演習」「高齢者理学療法学演習」から4単位以上修得すること。            ・専門分野「地域理学療法学」は、必修4単位修得すること。            ・専門分野「臨床実習」は、必修20単位修得すること。            ・専門分野「総合領域」は、必修6単位修得すること。</p>	1学年の学期区分	2期
	1学期の授業期間	15週
	1時限の授業時間	90分

<診療放射線学科>

区 分		授業科目	配当 年次		単位数		履修方法 及び 卒業要件	ナンバリング
					必修	選択		
基礎分野	人間科学系	現代社会と倫理	1	前		2	選択から6単位以上	BAG1000
		心理と行動	1	前		2		BAG1001
		社会学概論	1	前		2		BAG1002
		人間関係論（コミュニケーション論）	1	後		2		BAG1003
		法と社会（日本国憲法）	1	後		2		BAG1004
		人権とジェンダー	1	後		2		BAG1005
		社会保障制度と医療経済	2	前		2		BAG1006
		世界と日本現代史	2	前		2		BAG1007
	自然科学系	基礎化学	1	前		1	必修2単位に加え 選択から6単位以上	BAR1100
		基礎生物学	1	前		1		BAR1101
		基礎物理学	1	前		1		BAR1102
		応用物理学	1	前	1			BAR1103
		基礎数学	1	前		1		BAR1104
		応用数学	1	後	1			BAR1105
		情報科学	1	前		1		BAR1106
		統計学	1	後		2		BAR1107
		生化学	1	後		2		BAR1108
		生命現象の科学	1	後		2		BAR1109
	言語とスポーツ系	英語 I	1	前	2		必修6単位に加え 選択から4単位以上	BAR1200
		英語 II	1	後	2			BAR1201
		英語表現 I	2	前		2		BAR1202
		英語表現 II	2	後		2		BAR1203
		医療英語	2	後		2		BAR1204
		中国語 I	1・2	前		2		BAR1205
		中国語 II	1・2	後		2		BAR1206
		フランス語 I	1・2	前		2		BAR1207
		フランス語 II	1・2	後		2		BAR1208
		国語表現法	1	後		2		BAR1209
		スポーツ理論・実技	1	前	1			BAR1210
		スポーツ健康運動方法論	1	前	1			BAR1211
		野外スポーツ実習 I（サマー）	1	前		1		BAR1212
		野外スポーツ実習 II（ウインター）	1	後		1		BAR1213
	総合	キャリアデザインゼミナール	1	前	1		必修1単位	BAR1300
基礎分野 計（卒業要件）							25	

区分	授業科目	配当年次		単位数		履修方法及び卒業要件	ナンバリング
				必修	選択		
専門基礎分野	人体の構造と機能及び疾病の成り立ち	解剖学	1	前	2		PBR2000
		解剖学演習	1	後	1		PBR2001
		救命救急学	1	前	1		PBR2002
		疾病の成り立ちⅠ（感覚器系・脳神経・脳血管系）	1	後	2		PBR2003
		疾病の成り立ちⅡ（消化器系・腎泌尿器系）	2	前	2		PBR2004
		疾病の成り立ちⅢ（呼吸器系・循環器系）	2	後	2		PBR2005
		生理学	1	前	2		PBR2006
		病理学概論	2	前	1		PBR2007
		放射線医学概論	1	前	2		PBR2008
		薬理学	3	前		1	PBR2009
		チーム医療論	4	後		1	PBR2010
	保健医療福祉における理工学的基礎並びに放射線の科学及び技術	医用電気工学	1	前	2		PBR2100
		医用電子工学	1	後	2		PBR2101
		放射線生物学	1	後	2		PBR2102
		放射線生物学演習	2	前		1	PBR2103
		放射線物理学Ⅰ（基礎）	1	後	2		PBR2104
		放射線物理学Ⅱ（応用）	2	前	1		PBR2105
		放射線物理学演習	2	後		1	PBR2106
		放射化学Ⅰ（基礎）	1	後	2		PBR2107
		放射化学Ⅱ（応用）	2	前		1	PBR2108
		放射化学演習	2	後	1		PBR2109
		放射線計測学Ⅰ（基礎）	2	前	2		PBR2110
		放射線計測学Ⅱ（応用）	2	後		1	PBR2111
		放射線計測学実験	3	前	1		PBR2112
		放射線安全教育論	3	前	2		PBR2113
		専門基礎分野 計（卒業要件）					

必修  
15  
単位

必修  
17  
単位

※専門基礎分野から左記に加え選択4単位以上

区分	授業科目	配当年次		単位数		履修方法及び卒業要件	ナンバリング	
				必修	選択			
専門分野	診療画像技術学	診療画像機器学概論	1	後	1		SFR3000	
		診療画像機器学Ⅰ（X線発生装置関係）	2	前	2		SFR3001	
		診療画像機器学Ⅱ（X線システム関係）	2	後	2		SFR3002	
		X線撮影技術学Ⅰ（一般・マンモグラフィ）	2	前	2		SFR3003	
		X線撮影技術学Ⅱ（血管造影・MRI）	2	後	2		SFR3004	
		X線CT技術学	3	前	2		SFR3005	
		放射線診断学	2	前	2		SFR3006	
		画像診断技術学Ⅰ（X線CT）	2	前	2		SFR3007	
		画像診断技術学Ⅱ（MRI）	2	後	2		SFR3008	
		画像診断技術学Ⅲ（超音波・マンモグラフィ）	3	前		1	SFR3009	
		診断技術学実習Ⅰ（基本）	2	後	1		SFR3010	
		診断技術学実習Ⅱ（応用）	3	前	1		SFR3011	
		画像解剖学Ⅰ（X線）	2	後	2		SFR3012	
		画像解剖学Ⅱ（CT・MRI）	3	前	2		SFR3013	
	核医学検査	放射性医薬品学	2	前	2		SFR3100	
		核医学検査技術学Ⅰ	2	後	2		SFR3101	
		核医学検査技術学Ⅱ	3	前	2		SFR3102	
		核医学検査技術学実習	3	後	1		SFR3103	
	放射線治療技術学	がん医療科学	2	前		1	SFR3200	
		放射線腫瘍学	3	前	2		SFR3201	
		放射線治療物理学	2	後		1	SFR3202	
		放射線治療技術学Ⅰ	2	後	2		SFR3203	
		放射線治療技術学Ⅱ	3	前	2		SFR3204	
		放射線治療技術学実習	3	後	1		SFR3205	
	医用画像情報学	医用画像写真学	2	後	2		SFR3300	
		医用画像情報学	2	後	2		SFR3301	
		医用画像情報学実習	3	前	1		SFR3302	
		医用画像工学	3	前	2		SFR3303	
		医用画像工学実験	3	後	1		SFR3304	
	放射線安全管理学	放射線・放射線機器安全管理学	3	前	2		SFR3400	
		放射線安全管理学実験	3	後	1		SFR3401	
		放射線関係法規	4	前	2		SFR3402	
	医療安全管理学	医療倫理論	4	前	1		SFR3500	
		医療安全管理学	4	前	1		SFR3501	
	臨床実習	臨床実習Ⅰ（画像検査技術学）	3	後	6		SFR3600	
		臨床実習Ⅱ（核医学検査技術学）	4	前	2		SFR3601	
		臨床実習Ⅲ（放射線治療技術学）	4	前	2		SFR3602	
	総合領域	卒業研究	4	通	2		SFR3700	
		診療放射線総合演習	4	通	2		SFR3701	
		診療放射線学セミナー	4	後	1		SFR3702	
	専門分野 計（卒業要件）						69	

※専門分野から左記に加え選択2単位以上



卒業要件及び履修方法	授業期間等	
<p>&lt;卒業要件&gt;            必修108単位、選択22単位以上、合計130単位以上を修得すること。            (履修科目の登録の上限：46単位(1年次・2年次)、40単位(3年次・4年次))</p> <p>&lt;履修方法&gt;            ・基礎分野の「人間科学系」は、「現代社会と倫理」「心理と行動」「社会学概論」「人間関係論(コミュニケーション論)」「法と社会(日本国憲法)」「人権とジェンダー」「社会保障制度と医療経済」「世界と日本現代史」から6単位以上修得すること。            ・基礎分野の「自然科学系」は、必修2単位に加え、「基礎化学」「基礎生物学」「基礎物理学」「基礎数学」「情報科学」「統計学」「生化学」「生命現象の科学」から6単位以上修得すること。            ・基礎分野の「言語とスポーツ系」は、必修6単位に加え、「英語表現Ⅰ」「英語表現Ⅱ」「医療英語」「中国語Ⅰ」「中国語Ⅱ」「フランス語Ⅰ」「フランス語Ⅱ」「国語表現法」「野外スポーツ実習Ⅰ(サマー)」「野外スポーツ実習Ⅱ(ウインター)」から4単位以上修得すること。            ・基礎分野の「総合」は必修1単位修得すること。            ・専門基礎分野「人体の構造と機能及び疾病の成り立ち」は、必修15単位修得すること。            ・専門基礎分野「保健医療福祉における理工学的基礎並びに放射線の科学及び技術」は、必修17単位修得すること。            ・専門基礎分野は必修に加え、「薬理学」「チーム医療論」「放射線生物学演習」「放射線物理学演習」「放射化学Ⅱ(応用)」「放射線計測学Ⅱ(応用)」から4単位以上修得すること。            ・専門分野「診療画像技術学」は、必修23単位修得すること。            ・専門分野「核医学検査技術学」は、必修7単位修得すること。            ・専門分野「放射線治療技術学」は、必修7単位修得すること。            ・専門分野「医用画像情報学」は、必修8単位修得すること。            ・専門分野「放射線安全管理学」は、必修5単位修得すること。            ・専門分野「医療安全管理学」は、必修2単位修得すること。            ・専門分野「臨床実習」は、必修10単位修得すること。            ・専門分野「総合領域」は、必修5単位修得すること。            ・専門分野は必修に加え、「画像診断技術学Ⅲ(超音波・マンモグラフィ)」「がん医療科学」「放射線治療物理学」から2単位以上修得すること。</p>	1学年の学期区分	2期
	1学期の授業期間	15週
	1時限の授業時間	90分

# 単位

---

## ◆卒業所要単位数について

すべての科目には単位が定められており、科目を履修登録して授業に出席し、試験に合格すれば単位が修得できます。卒業するための最低必要単位数は理学療法学科132単位、診療放射線学科130単位であり、原則4年間で修得することが求められます。また、修得するための詳細規則がありますので十分注意してください。詳細規則は、「教育課程等の概要（授業科目一覧）」を確認してください。

## ◆留学等に基づく単位互換について

留学等により、内容によっては一定の基準に基づき、単位を互換できる場合があります。実施要領や単位互換に関する詳細は、保健医療学部事務室（お茶の水センタービル1階）にお問い合わせください。

# GPA制度

GPA (Grade Point Average) とは所定の換算ルールに基づき算出されたGP (Grade Point) の平均値を示したものです。

単位制度における学生の「学習の質」を示す指標となり個々の学習状況をより明確にする目的とし本学部においても導入します。

GPAは、留学する際に海外の受入大学が受入条件として設定していることが非常に多いため、注意が必要です。また、本学部の様々な学内選考の指標の1つとしても扱う予定です。

## 具体的な計算方法

$$\frac{4.0 \times A \text{の修得単位数} + 3.0 \times B \text{の修得単位数} + 2.0 \times C \text{の修得単位数} + 1.0 \times D \text{の修得単位数}}{\text{総履修登録単位数（「不合格（E）」の単位数を含む。履修中止科目は除外する。）}}$$

\* 卒業要件とならない科目は、GPAの算出から除外する。

## ◆成績について

成績評価と判定基準は以下の通りです。

なお、表内の「GP (Grade Point)」の活用方法については、「GPAについて」の説明を参照してください。

合否	評価	点数換算	GP	備考
合格	A	90～100	4.0	特に優れた成績を示したもの
	B	80～89	3.0	優れた成績を示したもの
	C	70～79	2.0	妥当と認められる成績を示したもの
	D	60～69	1.0	合格と認められる最低限の成績を示したもの
	認定	—	—	単位互換に基づき、合格であることを示したもの
不合格	E	59以下	0.0	不合格を示したもの
	受験資格無	—	0.0	2/3以上の出席要件を満たさず受験資格がないことを示したもの
履修中	履修中	—	—	現在、履修中であることを示したもの
中止	中止	—	—	履修中止処理を行ったことを示したもの

# ディプロマポリシー／学位授与の条件

保健医療学部では、「本学の学是である「仁」の精神に基づき、人間尊重の理念と高い倫理観と豊かな人間性を育み、医学や医療に係る基本的知識に裏打ちされた科学的根拠に基づく専門的知識及び医療技術を教授して、確かな実践能力と態度を身につけ、自己成長を目指して主体的に学修を継続することのできる資質の高い医療専門職者を養成する」ことを教育研究上の目的とします。卒業時に次の資質・能力を身に付けた者に対し、学士の学位を授与します。

## <保健医療学部共通>

1. 人間尊重の理念と高い倫理観を持ち、豊かな人間性を備えて人間の生活と健康状態における普遍性と多様性に強い関心と深い理解を示し、社会に貢献できる能力
2. 医学・医療に係る基本的知識を身につけるとともに、自己の専門分野における科学的根拠に基づいた体系的な専門的知識を修得し、実践能力を発揮することができる能力
3. 自己の専門分野に対する向上心と研究心を持ち、生涯を通して継続して自己研鑽に励み、自己成長していく能力

## <理学療法学科>

保健医療学部共通の資質・能力に加え、次の資質・能力を身に付けた者に『学士（理学療法学）』の学位を授与します。

1. 人間の生命・人権を尊重し、高い倫理観と豊かな人間性を備え、社会に貢献できる能力
2. 理学療法を必要としている人々を全人的に理解する能力
3. 人体の機能や構造及び疾患の病態に応じた診断・治療を理解し、人々の健康・疾病・障害に対する観察力や判断力が身に付いている
4. 理学療法学を必要としている人々に対して、科学的根拠に基づき理学療法を実践できる能力
5. 理学療法学に対する向上心と研究心を持ち、生涯に亘って主体的に継続して学修に取り組むことができる能力

## <診療放射線学科>

保健医療学部共通の資質・能力に加え、次の資質・能力を身に付けた者に『学士（診療放射線学）』の学位を授与します。

1. 人間の生命・人権を尊重し、高い倫理観と豊かな人間性を備え、社会に貢献できる能力
2. 放射線技術を必要としている人々を全人的に理解する能力
3. 人体の機能や構造及び疾患の病態に応じた診断・治療を理解し、人々の健康・疾病・障害に対する観察力や判断力が身に付いている
4. 放射線技術の対象及び目的について理解し、健康や障害の状態に応じて科学的根拠に基づく放射線技術を実践できる能力
5. 放射線技術学に対する向上心と研究心を持ち、生涯に亘って主体的に継続して学修に取り組むことができる能力